

北海道安平町

未来に向けた各種取組み

道の駅を拠点とした回遊・交流の取組み

来場者数 300万人を達成



平成31年4月の開業から
4年6か月で来場者300
万人を達成

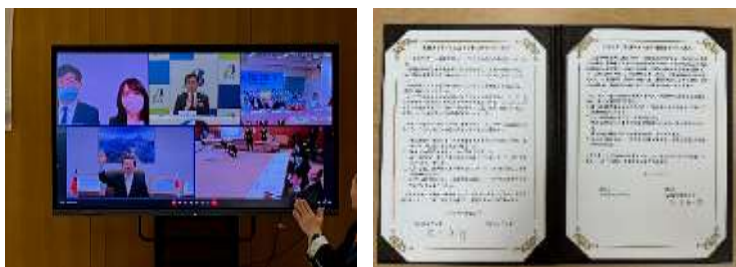
各種イベント・広域連携の取組み



道の駅では年間を通じて各種イベントを実施。
11月には恐竜ワールドむかわ展を開催し、賑わいを見せた。

台湾(台南市安平区)との友好交流協定の取組み

友好交流協定調印式



現地（台北-台中-台南）での交流の取組み



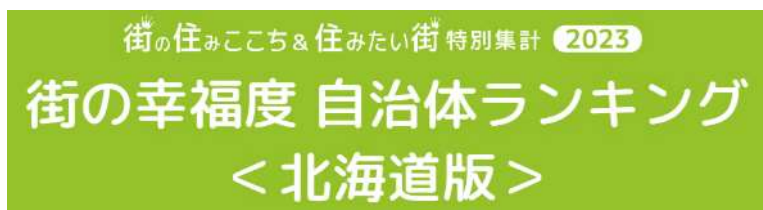
文化、教育、経済など幅広い分野において相互利益と友好関係を築くことを目的として令和5年4月に友好交流協定を締結。

その後、令和5年10月に現地訪問し、台北では日本の観光・物産博2023に出展、台中では追分駅、追分国民小学校、台南では安平国民小学校の方々と交流。

住まいの確保・移住定住に向けた取組み

「街の幸福度 自治体ランキング」で道内第3位

住まい確保に向けて包括連携協定を締結



北海道
勇払郡安平町

ABIRA-CHO | あびらちょう

偏差値

72.1

評点

71.4



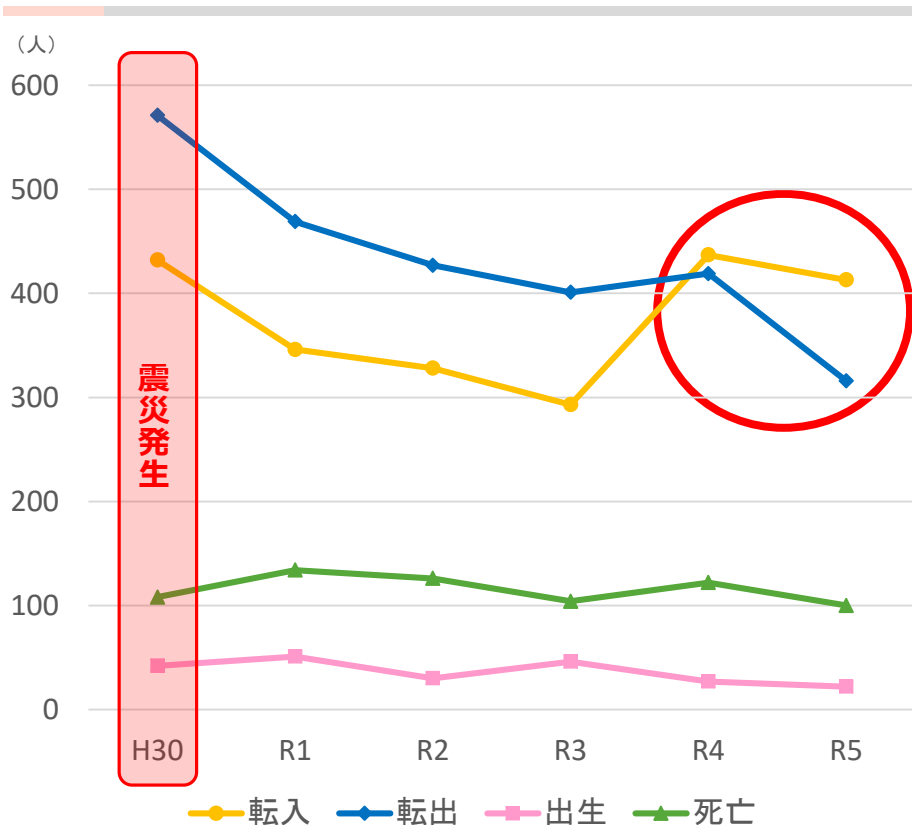
令和5年9月28日締結

大東建託(株) (賃貸未来研究所) が実施したアンケート調査に基づき、北海道版「街の幸福度自治体ランキング」で第3位となった。

(株)北海道銀行及び(株)常口アトムと移住定住の促進、空き家対策、快適な住環境や住まい確保などに関する包括連携協定をそれぞれ締結。

各種取組みを通じた安平町の人口推移

安平町の人口増減の推移



令和4年度転入超過数 **18**人

令和5年度転入超過数 **97**人

※R5.10月末時点

平成18年の合併以降、マイナスに転じていた人口の社会動態（転出入者）が、令和4年1月から12月の1年間において、転入超過に転じ、その後、令和5年に入ってから転入超過の傾向が続いている状況。
 引き続き、早来学園の開校をきっかけとしたPRや移住相談対応、移住関連施策を実施していく必要がある。

シンポジウム演題 1 安平町における官民連携の医療提供体制について



医療法人同和会
追分菊池病院 (40床)
町内唯一の病院

40床を無床化 在宅・外来を強化

(課題)
後継者不在、院長・部長の健康、医師不足

病床機能再編支援事業を活用 (単独支援給付金)



2021.10～無床化
2022.4～
社会医療法人平成醫塾
あびら追分クリニックとしてスタート

他の社会医療法人から医師が派遣

整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科

電子カルテを導入

医療計画の僻地申請

三位一体で、
地域医療を存続

医師派遣
入院患者受入
職員再雇用

事業を継承

町が、病院の土地、
建物を無償譲渡を受け、
無償で貸与

運営補助金
不動産無償貸与

往復バスの運行を開始

(課題)
公立医療機関無く、民間
医療機関の存続は必須



社会医療法人平成醫塾
苫小牧東病院



同時期に渡邊医院の新築建替え問題(R5年3月完成)



 **安平町役場**

